

<6月12日改訂版>

日本比較教育学会
第50回大会プログラム

Japan Comparative Education Society
The 50th Annual Conference

日時:2014年7月11日(金)~13日(日)

場所:名古屋大学東山キャンパス

主催:日本比較教育学会

日本比較教育学会 第50回大会日程

会場：名古屋大学

	7月11日(金)	7月12日(土)	7月13日(日)
8:00		8:00- 受付 (全学教育棟本館1階)	8:00- 受付 (全学教育棟本館1階)
9:00		9:00-11:30 自由研究発表I (全学教育棟本館) I - 1 (C13) I - 5 (C25) I - 2 (S10) I - 6 (S2Y) I - 3 (S1X) I - 7 (S20) I - 4 (C23) I - 8 (S21)	9:00-11:30 自由研究発表III (全学教育棟本館) III - 1 (C13) III - 6 (C25) III - 2 (S10) III - 7 (S2Y) III - 3 (S11) III - 8 (S20) III - 4 (S1X) III - 9 (S21) III - 5 (C23)
10:00			
11:00	11:30- 受付(理事会) (教育学部大会議室前)	11:30-12:30 紀要編集委員会 (全学教育棟C12)	11:30-12:30 昼食
12:00	12:30-14:00 常任理事会 (教育学部大会議室)	12:30-14:30 自由研究発表II (全学教育棟本館) II - 1 (C13) II - 6 (C25) II - 2 (S10) II - 7 (S2Y) II - 3 (S11) II - 8 (S20) II - 4 (S1X) II - 9 (S21) II - 5 (C23)	12:30-14:30 自由研究発表IV (全学教育棟本館) IV - 1 (C13) IV - 6 (C25) IV - 2 (S10) IV - 7 (S2Y) IV - 3 (S11) IV - 8 (S20) IV - 4 (S1X) IV - 9 (S21) IV - 5 (C23)
13:00			
14:00	14:15-17:30 全国理事会 (教育学部大会議室)	豊田講堂へ移動	豊田講堂へ移動
15:00		15:00-17:15 公開シンポジウム (豊田講堂ホール)	15:00-17:30 課題研究I (豊田講堂ホール) 課題研究II (豊田講堂シンポジオン)
16:00			
17:00		17:30-18:30 総会 (豊田講堂ホール)	
18:00	18:00- 受付 (全学教育棟本館1階) 18:30-20:30 ラウンドテーブル (全学教育棟本館) RT1 (C11) RT5 (S15) RT2 (C12) RT6 (S16) RT3 (S13) RT7 (S17) RT4 (S14) RT8 (S18)	18:45-20:30 懇親会 (豊田講堂アトリウム)	

大会参加者へのご案内

1. 受付

全学教育棟本館 1 階にて 7 月 11 日（金）は 17 時より、12 日（土）・13 日（日）は 8 時より行います。会場配置図をご覧ください。11 日（金）の常任・全国理事会受付は、11 時 30 分より教育学部大会議室前にて行います。

2. 大会参加費等

大会参加費は、正会員・臨時会員 5,000 円（事前申込 4,000 円）、学生会員 4,000 円（事前申込 3,000 円）です。懇親会費は、正会員・臨時会員 4,000 円（事前申込 3,500 円）、学生会員 3,000 円（事前申込 2,500 円）です。大会参加申込システム SOLTI (<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JCES>) から申込みを行い、大会準備委員会口座へのお振込みをお願いいたします。

※事前申込・事前振込の受付は 6 月 20 日（金）までです。

3. 大会本部

7 月 12 日（土）・13 日（日）に全学教育棟本館 C14 に設置します。なお、今大会ではクロークは設けておりません。

4. 会員控室

全学教育棟本館 C15 をご利用ください。

5. 託児室

今大会では会場に託児室を設けませんが、会場周辺の託児サービスについて情報を提供いたします。必要な会員は大会準備委員会までご相談ください。

6. 常任理事会・全国理事会・紀要編集委員会

常任理事会は 7 月 11 日（金）12 時 30 分より、全国理事会は 14 時 15 分より教育学部大会議室にて行います。紀要編集委員会は 12 日（土）11 時 30 分より全学教育棟本館 C12 にて行います。

7. 50 周年企画展示

豊田講堂アトリウムにて 7 月 12 日（土）・13 日（日）に 50 周年企画展示を行います。

8. 昼食場所およびコンビニエンスストア

7 月 12 日（土）は学内の南部食堂が通常営業しておりますので、ご利用ください。7 月 13 日（日）は生協のお弁当を事前にお申し込みいただき、当日は南部食堂で召し上がっていただく方式になります。また、自由研究発表会場となる全学教育棟前にファミリーマートがあり、日曜日にも営業しています。生協のお弁当を召し上がるかどうかにかかわらず、13 日の昼食・休憩には南部食堂をご利用いただけます。その他大学周辺のレストラン等については、昼食マップ（受付で配布）をご参照ください。

9. 懇親会

豊田講堂アトリウムにて、7 月 12 日（土）18 時 45 分より行います。

自由研究発表について

1. 発表時間

個人研究発表の時間は、30分（発表20分、質疑10分）となります。共同研究発表の場合は、30分（発表20分、質疑10分）もしくは60分（発表40分、質疑20分：事前申し込みをされたグループのみ）です。各部会での総括討論はありません。発表者も移動していただいて結構です。なお、各発表の間には休憩時間を設けておりません。

2. 発表資料

発表の際に配布する使用はあらかじめご用意の上、各会場係にお渡しください。会場係が配布いたします。なお、会場でのコピーのご要望には応じられませんので、ご了承ください。

3. 発表用機器

パソコンは会場に設置してありますので、各自でご準備いただく必要はありません。なお、会場ではWiFiが使用できません。あらかじめご了承ください。

4. 発表取り消しの場合

速やかに大会準備委員会にご連絡ください。発表取り消しの場合、時間の繰上げは行いません。

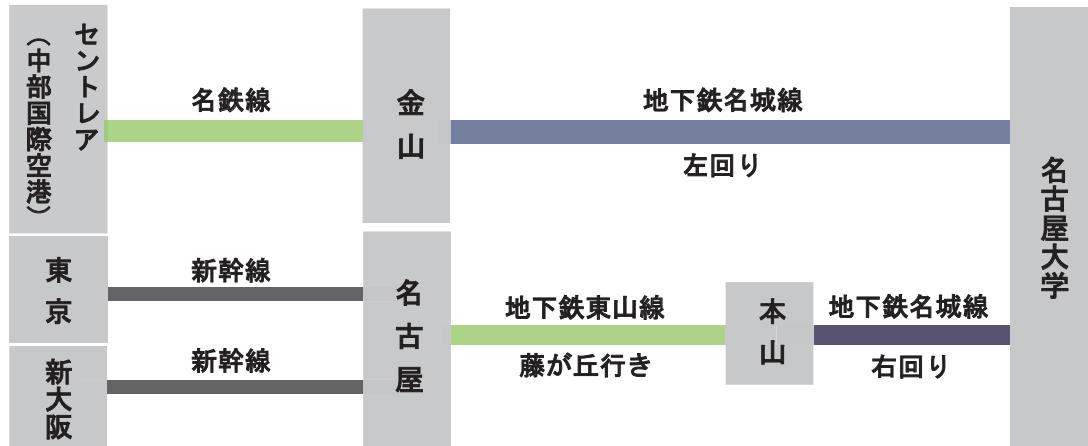
日本比較教育学会第50回大会準備委員会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町1 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 服部美奈研究室

E-mail: jces50.nagoya@gmail.com 緊急連絡先（大会当日のみ）：090-6078-5079

名古屋大学東山キャンパスのご案内

<名古屋大学東山キャンパスへのアクセス>



※所要時間は交通状況により異なります。

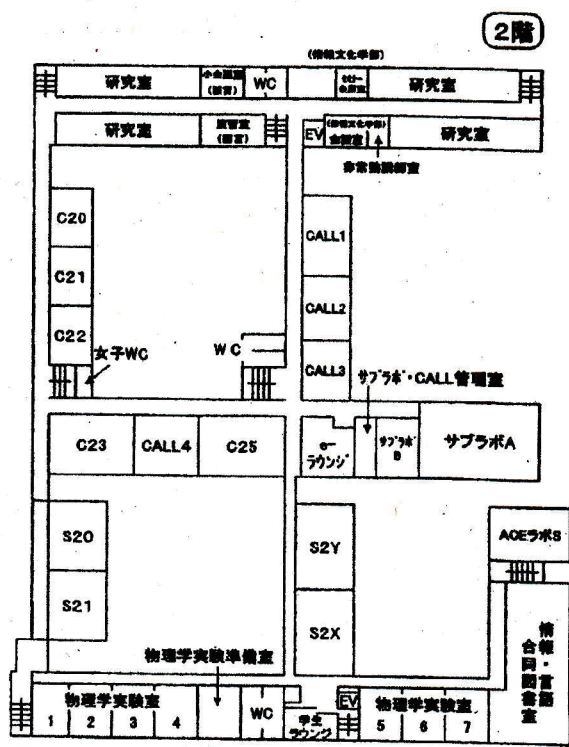
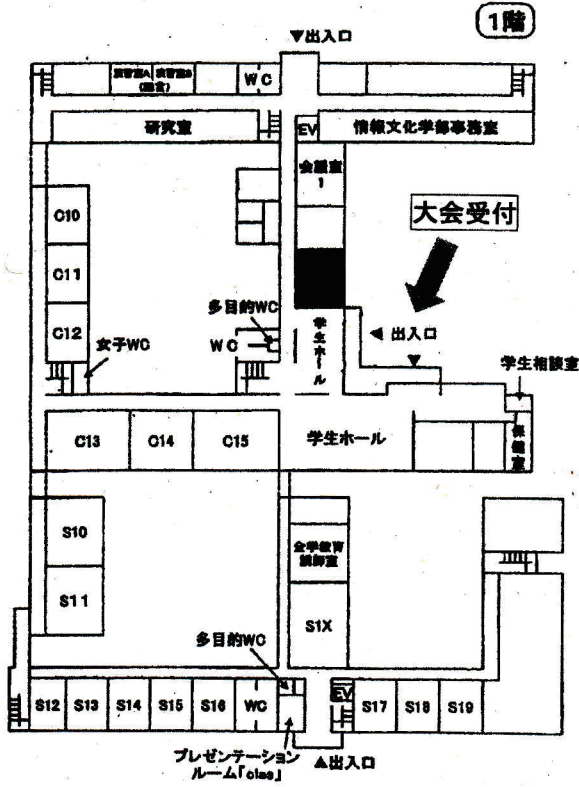
- ・ 中部国際空港より 名鉄空港線で金山駅へ。同駅にて地下鉄名城線（左回り）に乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約1時間～1時間30分。
- ・ 新幹線名古屋駅より 地下鉄東山線（藤が丘行き）で本山駅へ。同駅にて地下鉄名城線（右回り）に乗り換え、名古屋大学駅下車。所要時間約40～50分。

※公共交通機関をご利用ください。

<全学教育棟・豊田講堂・教育学部へのアクセス>



<全学教育棟本館>



自由研究発表

7月12日(土) 自由研究発表I	7月13日(日) 自由研究発表III
(午前) 9:00~11:30 <全学教育棟>	(午前) 9:00~11:30 <全学教育棟>
I - 1 東南アジア (1) C13	III - 1 シチズンシップ C13
I - 2 アフリカ (1) S10	III - 2 開発と教育 S10
I - 3 東アジア (1) S1X	III - 3 生涯学習 S11
I - 4 国際教育・教育交流 (1) C23	III - 4 教育改革・教育計画 S1X
I - 5 オセアニア C25	III - 5 北アメリカ C23
I - 6 高等教育 (1) S2Y	III - 6 ヨーロッパ (2) C25
I - 7 Education and Economics (E) . S20	III - 7 高等教育 (2) S2Y
I - 8 Southeast Asia (1 E) S21	III - 8 Africa (2 E) S20
	III - 9 Southeast Asia (2 E) S21
7月12日(土) 自由研究発表II	7月13日(日) 自由研究発表IV
(午後) 12:30~14:30 <全学教育棟>	(午後) 12:30~14:30 <全学教育棟>
II - 1 東南アジア高等教育 C13	IV - 1 東南アジア (2) C13
II - 2 中南米 S10	IV - 2 アフリカ (2) S10
II - 3 南アジア (1) S11	IV - 3 南アジア (2) S11
II - 4 東アジア (2) S1X	IV - 4 東アジア (3) S1X
II - 5 国際教育・教育交流 (2) C23	IV - 5 国際教育・教育交流 (3) C23
II - 6 ヨーロッパ (1) C25	IV - 6 ヨーロッパ (3) C25
II - 7 多文化教育 S2Y	IV - 7 教育と地域 S2Y
II - 8 異文化間教育 S20	IV - 8 International Education and Educational Interaction (E) . . . S20
II - 9 Africa (1 E) S21	IV - 9 Educational Reform and Educational Planning (E) S21

シンポジウム・課題研究

7月12日(土) 15:00~17:15	7月13日(日) 15:00~17:30
公開シンポジウム <豊田講堂ホール> 「グローバル化する世界における教育と 宗教者の役割」	課題研究 I <豊田講堂ホール> 「比較教育学 50年の回顧と展望」 課題研究 II <豊田講堂シンポジオン> 「外国人児童生徒の教育課題一日欧比較」

ラウンドテーブル

2014年7月11日（金）18:30～20:30

比較教育学と韓国研究

－方法論と課題 (2)－

企画者：田中 光晴 (東北大学)

樋口 謙一郎 (相山女学園大学)

司会者：樋口 謙一郎 (相山女学園大学)

発表者：嶋内 佐絵 (日本学術振興会特別研究員 (PD)) 山下 達也 (明治大学)

山崎 直也 (国際教養大学)

内容説明：グローバル社会における韓国の位置、および地域研究としての韓国研究は、比較教育学の発展にいか
に貢献できるか。昨年の討議を踏まえた上で、実践知の体系化、歴史研究、台湾研究との比較などを切り口とし
て、その研究手法、焦点および研究動向を検討し、「韓国の教育の研究」が比較教育学にいかなる寄与をなしうる
かについて議論を行いたい。

比較教育学におけるノンフォーマル教育研究の意義

企画者：丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

太田 美幸 (一橋大学)

司会者：太田 美幸 (一橋大学)

発表者：丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

二井 紀美子 (愛知教育大学)

見原 礼子 (長崎大学)

小原 優貴 (東京大学)

内容説明：多様性を特徴とするノンフォーマル教育は概念そのものも多義的で、比較研究の困難が指摘されてき
たが、各地域における教育とその背景の一般性と個別性を見定めるといふ比較教育研究の課題に照らせば、ノン
フォーマル教育の比較研究には一定の意義があるといえる。複数の事例報告をもとに、その意義と分析枠組みに
ついて議論する機会としたい。

北欧諸国は国際学力調査をどう活用しているのか

－PISA を中心に－

企画者：本所 恵（金沢大学）

司会者：澤野 由紀子（聖心女子大学）

発表者：本所 恵（金沢大学）

渡邊 あや（国立教育政策研究所）

林 寛平（信州大学）

佐藤 裕紀（新潟医療福祉大学）

隼瀬 悠里（福井大学）

長谷川 紀子（名古屋大学大学院）

内容説明：フィンランドの PISA での好成績が世界中から注目されたが、最近では北欧よりもアジア諸国の躍進がめざましく、北欧諸国 PISA ショックがおこっている。また、昨年には成人の学習能力に関する PIAAC の結果も公表された。北欧諸国が生涯学習施策の中で国際学力調査をどう受け止め、教育政策形成へどう反映しているのかを議論する。

国際教育交流というキャリアパスと研究の方向性

企画者：秋庭 裕子（一橋大学）

司会者：秋庭 裕子（一橋大学）

発表者：太田 浩（一橋大学）

末松 和子（東北大学）

渡部 留美（名古屋大学）

黒田 千晴（神戸大学）

内容説明：現在、日本の国際教育交流は、留学生受入から学生派遣にも重きが置かれており、大きな転換期を迎えている。そこで、本ラウンドテーブルでは、国際教育交流の現場で活躍している学会員が、①国際教育交流というキャリアパスの形成、②研究課題、について発表し、同分野で必要とされる人材と研究の方向性について議論する場としたい。

ラウンドテーブル 5 7月11日 (金) 18:30-20:30

教室 : S 15

Emerging International Dimensions in East Asian Higher Education

Conveners : Akiyoshi Yonezawa (Nagoya University) Yuto Kitamura (The University of Tokyo)
Hiroshi Ota (Hitotsubashi University) Arhur Meerman (Kurume University)
Kazuo Kuroda (Waseda University)

Chairs : Akiyoshi Yonezawa (Nagoya University) Arthur Meerman (Kurume University)

Presenters : Yuto Kitamura (The University of Tokyo) Kazuo Kitamura (Waseda University)
Yasushi Hirosato (Sophia University) Naoki Umemiya (JICA)
Toyohiko Yogo (Toyohashi University of Technology)

Commentator : Masahiro Chikada (Kobe University)

Description : This session introduces the recent trends in emerging international dimensions in East Asian Higher Education. Based on a common framework of region wide trends and the analyses of various cases of regional level interaction in higher education are examined and discussed.

ラウンドテーブル 6 7月11日 (金) 18:30-20:30

教室 : S 16

Educational Finance and Administration: Focus on Primary Schools in Developing Countries

Convener : Keiichi Ogawa (Kobe University)

Chair : Keiichi Ogawa (Kobe University)

Presenters : James Wokadala (Kobe University) Kazuhiro Yoshida (Hiroshima University)
Jun Kawaguchi (Osaka University) Takayo Ogisu (Nagoya University)

Description : Many developing countries have accomplished or are about to accomplish the high rate of access to primary education. However, issues related to quality, internal efficiency and equity still remain serious problems. This round table will address them from the point of view of education finance and administration, and provide recommendations on how the government of developing countries should take action after 2015.

学力向上策の国際比較

企画者：小川 佳万（東北大学）

発表者：松本 麻人（文部科学省）

坂本 真由美（九州龍谷短期大学）

伊井 義人（藤女子大学）

高橋 春菜（東北大学大学院）

内容説明：現在、世界各国で学力向上に関心が高まっている。単にテストの点数を上昇させるという施策から、新しい人材像との関連で学力向上を目指す動きも出てきている。本ラウンドテーブルでは、中国、韓国、オーストラリア、イギリス、イタリアで具体的にどのような対策が講じられているかを報告しながら、共通の課題について議論することにした。

東南アジア地域研究と比較教育学

—まちの「過去」から考える (3) —

企画者：中矢 礼美（広島大学）

司会者：中矢 礼美（広島大学）

発表者：西野 節男（名古屋大学）

森下 稔（東京海洋大学）

中田 有紀（東洋大学）

服部 美奈（名古屋大学）

市川 誠（立教大学）

小林 忠資（名古屋大学）

内容説明：まちの歴史と人々の「過去」への記憶は、教育の営みとどのように関わっているのだろうか。本ラウンドでは、マレー世界とその周辺のいくつかの町におけるローカルな歴史や人々の「過去」への記憶と教育との関係について、これまでの議論を発展させつつ、教育の地域研究および比較研究の可能性を多角的に議論する。

自由研究発表 I

2014年7月12日（土）9:00～11:30

自由研究発表 I - 1

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : C13

東南アジア (1)

司会 : 森下 稔 (東京海洋大学)

9:00 - 9:30 ラオス人民民主共和国における算数科教育のテスト分析

○北野 香 (鳴門教育大学大学院) 赤井 秀行 (鳴門教育大学大学院)

9:30 - 10:00 ベトナムにおけるインクルーシブ教育の導入

ーホアニャップ教育の取り組みに焦点をあてて

白銀 研五 (京都大学大学院)

10:00 - 10:30 児童中心の教授法は「落ちこぼれ (コーン・クサオイ)」を救うか?

ーカンボジア・プレイベン州の小学校を事例として

萩巢 崇世 (名古屋大学)

10:30 - 11:00 フィリピン中等教育校における生徒の学習等に係る意識について

ー人間関係の影響や性役割感と関連して

○池上 宗伸 (鳴門教育大学) 石坂 広樹 (鳴門教育大学)

11:00 - 11:30 フィリピンにおける中等教育制度改革に関する現状

ーシニアハイスクール・モデル事業の考察を中心にして

石田 憲一 (長崎純心大学)

自由研究発表 I - 2

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : S10

アフリカ (1)

司会 : 吉田 和浩 (広島大学)

9:00 - 9:30 モザンビーク共和国初等理数科教育の現状と課題

松垣 洋平 (鳴門教育大学大学院)

9:30 - 10:00 マラウイにおけるインクルーシブ教育の導入と展開

ー教員養成の現状と課題を中心に

川口 純 (大阪大学)

10:00 - 10:30 ケニアの学校教育制度と周縁化された子どもたち

大場 麻代 (大阪大学)

10:30 - 11:00 学びの場としてのインフォーマルセクター

ーガーナ国クマシにおける自動車修理徒弟のライフコース

山田 肖子 (名古屋大学)

11:00 - 11:30 南スーダンにおける学校運営と教師集団ージュバ市内の小学校の現実

澤村 信英 (大阪大学)

自由研究発表 I - 3

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : S1X

東アジア (1)

司会 : 南部 広孝 (京都大学)

9:00 - 9:30 中国シティズンシップ教育の動向考察—政府文献を中心に

張 玲 (名古屋大学)

9:30 - 10:00 韓国の代案学校の性格変化に関する研究—ガンジー共同体を事例として

石 善雨 (東京大学)

10:00 - 10:30 香港の学校評価システムの特徴に関する研究—支援と改善の視点を中心に

野澤 有希 (東洋大学・國學院大學栃木短期大学非常勤講師)

10:30 - 11:00 台湾の高級中学における「国際教育」の特徴と課題

小川 佳万 (東北大学)

11:00 - 11:30 大学評価と経営の基礎としての Institutional Research (IR) に関する一考察

—日本と台湾の比較

楊 武勳 (台湾・国立暨南国際大学)

自由研究発表 I - 4

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : C23

国際教育・教育交流 (1)

司会 : 黒田 千晴 (神戸大学)

9:00 - 9:30 日本人大学生の海外留学への一考察

—東南アジア地域に着目した留学の現状と学生の態度について

星野 晶成 (名古屋大学)

9:30 - 10:00 ミャンマーにおける高等教育改革と国際化

○上別府 隆男 (東京女学館大学)

○二宮 皓 (比治山大学) 堀田 泰司 (広島大学)

10:00 - 10:30 日本留学の利点とコスト

—日米豪の私費留学生の学費、生活費、支援金等の経済的要因の比較から

佐藤 由利子 (東京工業大学)

10:30 - 11:30 グローバルな競争環境下における大学国際化評価に関する研究

—大学国際化の評価指標に関する質問紙調査結果を中心に

太田 浩 (一橋大学) ○渡部 由紀 (一橋大学)

○野田 文香 (大学評価・学位授与機構) ○金 性希 (大学評価・学位授与機構)

自由研究発表 I - 5

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : C25

オセアニア

司会 : 杉本 和弘 (東北大学)

- 9:00 - 9:30 オーストラリアにおける高等教育と資格枠組みの関連
—「ホスピタリティ」資格の事例からみた課題
中村 雅美 (名古屋大学大学院)
- 9:30 - 10:00 オーストラリアの大学における留学生の文化適応に関する研究
—中国人留学生の視点から
朱 静雯 (九州大学大学院)
- 10:00 - 10:30 オーストラリア各州カリキュラムにおける汎用的能力の位置づけ
—ナショナル・カリキュラム導入による議論を受けて
青木 麻衣子 (北海道大学)
- 10:30 - 11:00 オーストラリアにおける教員養成改革—全国統一制度に向けた動きを中心に
本柳 とみ子 (神奈川県立国際言語文化アカデミア)
- 11:00 - 11:30 学校と地域の連携を通じた災害危機管理体制の充実に向けて
—ニュージーランドにおけるセーフコミュニティ、セーフスクールの取り組みに学ぶ
桜井 愛子 (東北大学)
-

自由研究発表 I - 6

7月12日(土) 9:00 - 11:30

教室 : S2Y

高等教育 (1)

司会 : 夏目 達也 (名古屋大学)

- 9:00 - 9:30 スウェーデンにおける教員養成課程の質保証に関する考察
武 寛子 (愛知教育大学)
- 9:30 - 10:00 大学は"危機"にあるか—フランスにおける大学改革への評価に係る一考察
田川 千尋 (大阪大学未来戦略機構第五部門)
- 10:00 - 10:30 質保証のための学生参画—イギリスの事例から
田中 正弘 (弘前大学)
- 10:30 - 11:00 オーストリアの専門大学のガバナンス分析(1)
田中 達也 (川口短期大学)
- 11:00 - 11:30 フィンランドの高等教育における保育者養成プログラム
大佐古 紀雄 (育英短期大学)

自由研究発表 I - 7

7月12日(土) 9:00 - 11:00

教室 : S20

Education and Economics (E)

Chairperson : Yasushi Hirosato (Sophia University)

- 9:00 - 9:30 Effect of Remittances on Investments in Children's Education in the Kyrgyz Republic
Elmira Ibraeva (Kobe University)
- 9:30 - 10:00 An Analysis on Relationship between Education and Labor Market in Tajikistan
Asuka Yasuoka (Kobe University)
- 10:00 - 11:00 What do students have an entitlement to learn at upper secondary school?:A review
from A British 'Baccalaureat' to the current diversity of Baccalaureates in the UK
○Masaaki YANAGIDA (Aoyama Gakuin University)
○Naohiro IIDA (Hokkaido University)
Wataru HANAI (Kyushu University / Research Fellow of JSPS)
-

自由研究発表 I - 8

7月12日(土) 9:00 - 11:00

教室 : S21

Southeast Asia (1E)

Chairperson : Kazuo Kuroda (Waseda University)

- 9:00 - 9:30 Determinants of school attendance and children's work in Vietnam
Tomoko Umeno (Kobe University)
- 9:30 - 10:00 The effect of financial incentive to prevent teacher to move to other occupations:
Evidence from Laos
Viriyasack SISOUPHANTHONG
(Doctoral student at Kobe University and Lecturer at National University of Laos)
- 10:00 - 10:30 Determinants of Secondary School Enrollment in Indonesia
Zahar Angga Setiawan (Kobe University)
- 10:30 - 11:00 An Analysis on Teacher Education in Myanmar:Using System Assessment and
Benchmarking for Education Results (SABER) Framework
Keiichi Ogawa (Kobe University)

自由研究発表Ⅱ

2014年7月12日（土）12:30～14:30

自由研究発表Ⅱ - 1

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : C13

東南アジア高等教育

司会 : 鈴木 康郎 (高知県立大学)

- 12:30 - 13:00 ベトナムの大学入学者選抜制度における「集権性」と「分権性」
—高等教育ガバナンスという視点から
関口 洋平 (京都大学大学院生 / 日本学術振興会特別研究員)
- 13:00 - 13:30 マレーシアにおける高等教育の国際化政策に関する現状と課題
—研究と教育の質的向上を目指して
秋庭 裕子 (一橋大学)
- 13:30 - 14:00 カンボジアにおける大学教員の教育・研究の現状
○北村 友人 (東京大学)
○梅宮 直樹 (独立行政法人国際協力機構 / マレーシア日本国際工科院)
- 14:00 - 14:30 インドネシアの高等教育質保証制度の変遷と課題—私学高等教育を中心に
和氣 太司 (弘前大学)
-

自由研究発表Ⅱ - 2

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : S10

中南米

司会 : 斉藤 泰雄 (国立教育政策研究所 名誉所員)

- 12:30 - 13:00 ブラジルにおける学校評議会の役割—校長との関係に着目して
田村 徳子 (京都大学大学院)
- 13:00 - 13:30 1990年代以降のラテンアメリカ民衆教育のパラダイム
—ラテンアメリカ・カリブ民衆教育会議 (CEAAL) による議論を中心に
工藤 瞳 (日本学術振興会特別研究員 / 帝京大学)
- 13:30 - 14:00 ブラジルの公立学校における外国人児童の現状と課題
—サンパウロのボリビア人を中心に
二井 紀美子 (愛知教育大学)
- 14:00 - 14:30 ベリーズという国とそこでの人材養成
関口 礼子 (日本の社会研究所)

自由研究発表Ⅱ - 3

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : S11

南アジア (1)

司会 : 日下部 達哉 (広島大学)

12:30 - 13:00 インドにおける大学教員としての適性—大学教員資格試験を手がかりに

渡辺 雅幸 (京都大学大学院)

13:00 - 13:30 インドにおける「仕事教育」の展開

河井 由佳 (広島大学)

13:30 - 14:00 インド・県教育研究所での初等教員養成—就学生に焦点をあてて

赤井 ひさ子 (東海大学福岡短期大学)

14:00 - 14:30 インドの「無償義務教育に関する子どもの権利法」にみるバウチャー制の受容

西村 史子 (共立女子大学)

自由研究発表Ⅱ - 4

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : S1X

東アジア (2)

司会 : 松本 麻人 (文部科学省)

12:30 - 13:00 民営大学の学生意識に関する一考察—青島恒星職業技術学院を中心として

邵 姜魏 (早稲田大学大学院)

13:00 - 13:30 韓国の疎外階層学生たちの芸術教育支援策—オーケストラを中心に

吳 媯 鈺 (高麗大學校)

13:30 - 14:00 中国における国際バカロレア導入の現状と課題—IB認定校の調査を手掛かりに

李 霞 (プール学院大学短期大学部)

14:00 - 14:30 近代的教育概念の韓国への受容過程

○韓 龍震 (高麗大学) ○趙 文淑 (高麗大学大学院)

自由研究発表Ⅱ - 5

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : C23

国際教育・教育交流 (2)

司会 : 佐藤 由利子 (東京工業大学)

12:30 - 13:00 韓国における外国人留学生政策の転換—外国人留学生誘致・管理力量認証制を中心に

塚田 亜弥子 (東京大学大学院)

13:00 - 13:30 留学生の質保証を目指した支援のあり方について—T 大学を事例として

朴 賢淑 (東北大学)

13:30 - 14:00 高等教育における米中教育連携の諸相

黒田 千晴 (神戸大学)

14:00 - 14:30 能力開発の観点から見た留学の効果に関する研究—広島大学の留学生を事例として

黒田 則博 (広島大学)

自由研究発表Ⅱ - 6

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : C25

ヨーロッパ (1)

司会 : 近藤 孝弘 (早稲田大学)

12:30 - 13:00 ドイツの前期中等教育における職業準備教育の意義と役割

栗原 麗羅 (上智大学大学院)

13:00 - 13:30 ドイツ連邦共和国における倫理科と宗教科との教科間連携の特徴と課題

—ベルリンの事例研究とインタビュー調査を中心に

濱谷 佳奈 (大阪樟蔭女子大学)

13:30 - 14:00 ドイツにおける三分岐型から二分岐型学校制度への改革動向

ト部 匡司 (広島市立大学)

14:00 - 14:30 ボローニャ・プロセスと教員養成制度改革—ドイツの事例を中心として

木戸 裕 (上智大学大学院非常勤講師)

自由研究発表Ⅱ - 7

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : S2Y

多文化教育

司会 : 丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

- 12:30 - 13:00 「共生社会」のための教育を巡るせめぎ合いに関する一考察
—南アフリカ共和国西ケープ州の高等学校におけるフィールド・ワークを手がかりとして
坂口 真康 (筑波大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)
- 13:00 - 13:30 多文化社会カナダのいじめ対策の動向と特質—オンタリオ州を中心に
児玉 奈々 (滋賀大学)
- 13:30 - 14:00 トルコにおける 2012 年義務教育改革と宗教教育
宮崎 元裕 (京都女子大学)
- 14:00 - 14:30 学校教育におけるユネスコの価値の受容に関する一考察—学習指導要領を中心に
市瀬 智紀 (宮城教育大学)
-

自由研究発表Ⅱ - 8

7月12日(土) 12:30 - 14:30

教室 : S20

異文化間教育

司会 : 園山 大祐 (大阪大学)

- 12:30 - 13:00 ボランティア組織の「語り」を対象としたニューカマー生徒の「居場所」の形成過程
奴久妻 駿介 (一橋大学大学院)
- 13:00 - 13:30 二言語環境で育った年少者の言語習得のモチベーション
チモシェンコ ナターリア (お茶の水女子大学)
- 13:30 - 14:00 イタリアにおける間文化的な場としての図書館
—トスカーナ州の拠点ラツェリーニ図書館のネットワーク
高橋 春菜 (東北大学大学院)
- 14:00 - 14:30 青年海外協力隊経験による現職教員の意識変容過程—事例の考察
○前田 美子 (大阪女学院大学) ○中村 聡 (広島大学) 小野 由美子 (鳴門教育大学)

Africa (1E)

Chairperson : Nobuhide Sawamura (Osaka University)

- 12:30 - 13:00 Teacher Preparation and Continuing Professional Education in Primary Teacher
Colleges in Uganda—Capacity Gap Analysis
James Wokadala (Kobe University)
- 13:00 - 13:30 Effect of Automatic Promotion on Students' Dropout Rate and Learning
Achievements: Evidence from Uganda's Primary Education
Jeje Moses Okurut (Kobe University)
- 13:30 - 14:00 The Determinants of School Enrollment under the Universal Primary Education
Policy in Uganda
Katsuki Sakaue (Kobe University)
- 14:00 - 14:30 Literacy and Development in Kenya
—Exploring Maasai Women's Perspective on Literacies and Social Change
Taeko Takayanagi (The University of Sydney)

公開シンポジウム

2014年7月12日（土）15:00～17:15

日本比較教育学会第 50 回大会

公開シンポジウム

(本公開シンポジウムは、会員以外の一般の方々も自由に参加いただけます。)

「グローバル化する世界における教育と宗教者の役割」

日時：2014 年 7 月 12 日（土）午後 3 時～5 時 15 分

場所：名古屋大学 豊田講堂ホール

企画趣旨説明 服部美奈（名古屋大学）

パネリスト

ハンス ユーゲン・マルクス（南山学園理事長）

澤井義次（天理大学人間学部教授）

イディリス・ダニシマズ（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教員）

司会 渡邊雅子（名古屋大学）（言語は日本語です）

趣旨

本公開シンポジウムでは、グローバル化する世界における教育の将来と宗教者の果たす役割について、キリスト教（カトリック）、天理教、イスラームの各宗教者の視点からお話しいただき、意見を交わしたいと思います。パネリストとしてお話しいただく 3 氏は大学の学部段階でそれぞれの神学（カトリック神学、天理教学、イスラーム神学）を学び、外国の大学院に留学し博士学位まで取得された方々で、宗教者と研究者の両面からご提言いただけます。南山学園はドイツの神言修道会による名古屋における教育事業として、また天理教は海外伝道と関わったアジア諸言語の学習伝統に、そしてトルコではギュレン運動に共鳴したイスラーム的な国際学校の海外展開といった興味深い点があり、本シンポジウムはそれぞれの実践と経験についてお話をうかがえる貴重な機会です。

グローバル化は経済的な面で世界を一つに結びつけ、同時に国境をこえた様々な次元の交流と人々の繋がりを拡大してきました。それは伝統的な意味での国家意識を不安定にさせる側面をあわせもち、一部の国では資源や国境問題に目を向けさせて、ナショナリズムを煽るような動きも目立ちます。民族や宗教を異にする人々の対立と紛争、そして宗教の旗印を掲げて繰り返されるテロ、異質なものへの差別と排除といった事柄には、物質的な前進にもかかわらず、人間の尊厳、命の尊厳が今なお十分に守られていないことを痛感させられます。差異や異質なものに寛容な社会をいかに実現していくのか、多様なアイデンティティと価値観を持った人々が平和に共存する社会をいかにつくっていくのか、教育の未来に課された課題は相変わらず大きく難しいですが、宗教組織と宗教者による取り組みの一端をうかがい、意見を交換する中から示唆を得て、少しでも明るい希望を共有できるように願っております。

自由研究発表Ⅲ

2014年7月13日（日）9:00～11:30

自由研究発表Ⅲ - 1

7月13日(日) 9:00 - 11:00

教室 : C13

シチズンシップ

司会 : 嶺井 明子 (筑波大学)

- 9:00 - 9:30 ウズベキスタンにおける法に関する教育と「社会における法文化」
木之下 健一 (一橋大学大学院)
- 9:30 - 10:00 ASEAN 諸国における市民性教育に関する国際比較研究—デルファイ調査結果の分析
○平田 利文 (大分大学) ○森下 稔 (東京海洋大学) 市川 誠 (立教大学)
乾 美紀 (兵庫県立大学) 手嶋 将博 (文教大学) 中田 有紀 (東洋大学)
長濱 博文 (九州女子大学) 羽谷 沙織 (立命館大学) 服部 美奈 (名古屋大学)
- 10:00 - 10:30 マレーシアにおける市民性教育の現状と志向性
—教育関係者に対するデルファイ調査の結果を中心に
手嶋 将博 (文教大学)
- 10:30 - 11:00 日本における道徳教育強化策を吟味する—フランスの市民性育成教育を対極として
石堂 常世 (早稲田大学名誉教授/郡山女子大学)
-

自由研究発表Ⅲ - 2

7月13日(日) 9:00 - 11:00

教室 : S10

開発と教育

司会 : 黒田 則博 (広島大学)

- 9:00 - 9:30 国際教育開発論に教育学は必要か—教育の正当化根拠の検討のなかで
橋本 憲幸 (筑波大学)
- 9:30 - 10:00 途上国の教育開発協力における指標の選択と成果について
○吉田 和浩 (広島大学) ○隅田 姿 (広島大学大学院)
- 10:00 - 10:30 ケネディ政権の対ラテンアメリカ教育開発政策の意義と限界
—「進歩のための同盟」をめぐって
江原 裕美 (帝京大学)
- 10:30 - 11:00 民営初等教育に関する比較研究—ケニア、タンザニア、南アフリカを対象に
○渋谷 英章 (東京学芸大学) ○古川 和人 (東京女子体育大学)

自由研究発表Ⅲ - 3

7月13日(日) 9:00 - 11:30

教室 : S11

生涯学習

司会 : 石村 雅雄 (鳴門教育大学)

- 9:00 - 9:30 沖縄県八重山諸島における「学校芸能」の創造と展開
呉屋 淳子 (国立民族学博物館)
- 9:30 - 10:00 インディアナポリスこども博物館の取り組みに関する考察
吉野 舞起子 (ティーチャーズ・カレッジ、エルベンウッド・センター)
- 10:00 - 10:30 ミュージアムにおける身体—視覚と触覚をめぐって
横山 佐紀 (国立西洋美術館)
- 10:30 - 11:00 フランスの教育困難地域における中途退学者のキャリア形成支援
—ボンディ市のミッション・ローカルの活動を事例として
京免 徹雄 (愛知教育大学)
- 11:00 - 11:30 ラトヴィアにおける若年者支援事業と成人教育事業の関係性
—ツェーシス市の事例をもとに
鈴木 尚子 (徳島大学)
-

自由研究発表Ⅲ - 4

7月13日(日) 9:00 - 11:00

教室 : S1X

教育改革・教育計画

司会 : 米澤 彰純 (名古屋大学)

- 9:00 - 9:30 カナダ・オンタリオ州における州統一学力テストをめぐる動向
—中等教育リテラシーテスト(OSSLT)を中心に
森本 洋介 (弘前大学)
- 9:30 - 10:00 スウェーデンの後期中等教育における多様性と共通性
—教育の質保証のあり方に着目して
本所 恵 (金沢大学)
- 10:00 - 10:30 ドイツ教師教育改革における教師教育スタンダードの影響
辻野 けんま (上越教育大学)
- 10:30 - 11:00 OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) 2013 の概要
松原 憲治 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター)

自由研究発表Ⅲ - 5

7月13日(日) 9:00 - 11:30

教室 : C23

北アメリカ

司会 : 犬塚 典子 (京都大学)

- 9:00 - 9:30 チャータースクールにおけるキャリア教育
寶來 敬章 (高田短期大学)
- 9:30 - 10:00 アメリカのハイスクールにおける職業教育改革施策の展開
—第4次パーキンス法の制定背景の検討を中心に
石嶺 ちづる (自由が丘産能短期大学)
- 10:00 - 10:30 現代アメリカ教育改革への批判的視座—Diane Ravitch “Reign of Error” に即して
末藤 美津子 (東洋学園大学)
- 10:30 - 11:00 教員養成評価の厳格化に関する一考察—アメリカを事例に
佐藤 仁 (福岡大学)
- 11:00 - 11:30 米国研究大学における将来の大学教員準備プログラムの展開
—その概要と最新状況に関する考察
吉良 直 (日本教育大学院大学)
-

自由研究発表Ⅲ - 6

7月13日(日) 9:00 - 11:30

教室 : C25

ヨーロッパ (2)

司会 : 沖 清豪 (早稲田大学)

- 9:00 - 9:30 貧困予防としての「言語力」育成にかかる教育実践
—オランダの非西洋系児童集中校における事例から
末岡 加奈子 (大阪大学大学院)
- 9:30 - 10:00 フランスの歴史教育における集合的記憶の育成
平田 文子 (早稲田大学大学院)
- 10:00 - 10:30 イギリスにおけるキャリア形成と雇用可能性をめぐる支援政策の展開
—ガイダンスを中心とした周辺支援に焦点を当てて
白幡 真紀 (日本学術振興会特別研究員/東北大学大学院)
- 10:30 - 11:00 英国独立学校における特別活動
—extra-curricular activities の多様性に焦点を当てて
古阪 肇 (早稲田大学)
- 11:00 - 11:30 イギリス連立政権下の学校制度改革と地方教育行政への影響
—地方当局へのインタビュー調査の結果から
青木 研作 (西九州大学)

自由研究発表Ⅲ - 7

7月13日(日) 9:00 - 11:00

教室 : S2Y

高等教育 (2)

司会 : 山田 礼子 (同志社大学)

- 9:00 - 9:30 台湾における空中大学の性格と特徴—導入期に見られた学位授与の論争をめぐって
廖 于晴 (京都大学大学院)
- 9:30 - 10:00 国際化するカリキュラムの志向性に関する研究
—日韓高等教育における英語による学位プログラムに注目して
嶋内 佐絵 (日本学術振興会特別研究員 (PD))
- 10:00 - 10:30 起業家精神の形成と教育—日韓の大学生の起業家精神の実証的調査を踏まえて
尹 敬勲 (流通経済大学)
- 10:30 - 11:00 中国女子高等教育の再興と女性・ジェンダー教育の実践
—北京、南京、上海を中心として
大濱 慶子 (神戸学院大学)
-

自由研究発表Ⅲ - 8

7月13日(日) 9:00 - 11:00

教室 : S20

Africa (2E)

Chairperson : Shoko Yamada (Nagoya University)

- 9:00 - 9:30 Accounting for Variations in Lower Primary Student Achievement in a Rural Area
of Malawi: A Multilevel Analysis
Kyoko Taniguchi (Hiroshima University)
- 9:30 - 10:00 Early Grade Reading in Uganda
Ryosuke Matsuura (Kobe University)
- 10:00 - 10:30 An Analysis on Issues Junior High School Students in Ghana Face and their
Social Awareness
Hiroki Ishizaka (Naruto University of Education)
- 10:30 - 11:00 Issues of Primary Math and Science education in Sub-Saharan Countries based on
Japanese Model
○Masakazu Kita (Okayama University)
○Thembi Constance Ndlalane (Okayama University)

Southeast Asia (2E)

Chairperson : Yuto Kitamura (The University of Tokyo)

- 9:00 - 9:30 Teachers' Perception and Prospect on Educational Resources toward Education
Quality Improvement in Cambodia
○Chankea PHIN (University of Tsukuba) Shinji KUBOTA (University of Tsukuba)
- 9:30 - 10:00 Child Labor and School Outcome in Cambodia in Cambodia:
Primary and Secondary Education
Phal CHEA (Kobe University)
- 10:00 - 10:30 When National Meets Regional:
Findings from a Survey on Education for "ASEANness" in Cambodia
HAGAI, Saori (Ritsumeikan University)
- 10:30 - 11:00 Pre-Service Lesson Study as a means for Professional Development:
Report on Macro Demo Teaching in the Philippines
Robin Sakamoto (Kyorin University)

自由研究発表Ⅳ

2014年7月13日（日）12:30～14:30

自由研究発表IV - 1

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : C13

東南アジア (2)

司会 : 平田 利文 (大分大学)

12:30 - 13:00 中部ジャワ州スラマン女性矯正施設におけるパケットプログラムの展開

—隔離と包摂をめぐって

○神内 陽子 (名古屋大学大学院) ○町田 純奈 (名古屋大学大学院)

13:00 - 13:30 ポル・ポト時代後のカンボジアにおける小学校教育の質的一考察

—コンダール州の事例から

千田 沙也加 (名古屋大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員 DC1)

13:30 - 14:00 メコン川流域における労働移動と教育支援ネットワークの形成

—タイ・ラオス・カンボジアを中心として

○乾 美紀 (兵庫県立大学) ○野津 隆志 (兵庫県立大学)

Chea Phal (神戸大学大学院)

14:00 - 14:30 インドネシア・アンボンにおける世代別アイデンティティの特徴と教育に関する考察

中矢 礼美 (広島大学)

自由研究発表IV - 2

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : S10

アフリカ (2)

司会 : 小川 啓一 (神戸大学)

12:30 - 13:00 教員が考える「ジェンダーに配慮した教育」とその実践

—エチオピア農業訓練カレッジにおける「ジェンダーに配慮したカリキュラム」を事例に

島津 侑希 (名古屋大学大学院)

13:00 - 13:30 マラウイにおける中等学校教師の指導力—青年海外協力隊員の視点から

日下部 光 (大阪大学大学院)

13:30 - 14:00 ザンビア農村部の学校における Social and Development Studies (SDS)の授業について

—持続可能な開発のための教育 (ESD) の理念に基づく環境教育の視点から

○近森 憲助 (鳴門教育大学) 小野 由美子 (鳴門教育大学)

小澤 大成 (鳴門教育大学)

14:00 - 14:30 カメルーンにおける授業研究の受容—初・中等パイロット学校の事例

○小澤 大成 (鳴門教育大学) 石村 雅雄 (鳴門教育大学)

自由研究発表IV - 3

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : S11

南アジア (2)

司会 : 杉本 均 (京都大学)

- 12:30 - 13:00 バングラデシュの幼児教育における統一性と独自性
—国家基準と2つのNGOの実践比較
門松 愛 (京都大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)
- 13:00 - 13:30 インドにおける国内移住労働が子どもの教育に与える影響についての考察
塩見 睦子 (神戸大学)
- 13:30 - 14:00 GNH と GNH 教育—ブータンにおける新たな教育の展開とその限界
平山 雄大 (早稲田大学)
- 14:00 - 14:30 バングラデシュ農村部における教育開発と社会移動
—近郊農村と僻地農村における世帯階層分析から
日下部 達哉 (広島大学)
-

自由研究発表IV - 4

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : S1X

東アジア (3)

司会 : 植村 広美 (県立広島大学)

- 12:30 - 13:00 民族学校の義務教育段階におけるカリキュラムの変容
—中国内モンゴル自治区を中心に
斯 欽 (名古屋大学大学院)
- 13:00 - 13:30 朝鮮戦争期における戦時教材研究—初等学校の『戦時生活』シリーズを中心に
朴 貞蘭 (大分県立芸術文化短期大学)
- 13:30 - 14:00 日帝植民地期女子高等教育の考察—日帝の女性高等教育政策と朝鮮人の対応
○李 恩淑 (高麗大学大学院) 趙 文淑 (高麗大学大学院)
金 慈中 (高麗大学大学院)
- 14:00 - 14:30 2000年代の台湾における高等教育改革と書院教育—目的・理念・制度を中心に
山崎 直也 (国際教養大学)

自由研究発表IV - 5

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : C23

国際教育・教育交流 (3)

司会 : 西野 節男 (名古屋大学)

- 12:30 - 13:00 アラブ首長国連邦における外国大学分校の比較考察
— 転換期における規制主体の多様化と管理運営構造を中心に
中島 悠介 (京都大学大学院 / 日本学術振興会特別研究員)
- 13:00 - 13:30 大学生のキャリア展望をもとにした海外留学支援制度の在り方
— 日本の四年制大学におけるインタビュー調査より
○杉野 竜美 (神戸大学) 正楽 藍 (香川大学) 武 寛子 (愛知教育大学)
- 13:30 - 14:00 タイ人ムスリム留学生に見るマレーシア留学の特色とその背景
— マレーシア国際イスラーム大学を事例として
○鈴木 康郎 (高知県立大学) カンピラパーブ・スネート (名古屋大学)
- 14:00 - 14:30 タイの大学における産学連携と地域貢献—産業連携と地域貢献を巡る課題
小川 勤 (山口大学)
-

自由研究発表IV - 6

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : C25

ヨーロッパ (3)

司会 : 渡邊 雅子 (名古屋大学)

- 12:30 - 13:00 デンマークの0年生に関する一考察—幼少連携のモデルとして
児玉 珠美 (早稲田大学・院生)
- 13:00 - 13:30 チェコ大学の社会的機能に関する比較分析
石倉 瑞恵 (石川県立大学)
- 13:30 - 14:00 フィンランドにおける教育課程の変遷—何が、どう変わったのか
渡邊 あや (国立教育政策研究所)
- 14:00 - 14:30 欧州における北欧型生涯学習モデルの位置づけと周辺諸国への波及
澤野 由紀子 (聖心女子大学)

自由研究発表IV - 7

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : S2Y

教育と地域

司会 : 内海 成治 (京都女子大学)

12:30 - 13:00 アジア諸国における学校とレジリエンスに関する国際比較調査 (中間報告)

○永田 佳之 (聖心女子大学) ○曾我 幸代 (法政大学)

丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

13:00 - 13:30 教育と社会的結束 : 紛争後社会の文脈におけるモデルの検討

小松 太郎 (上智大学)

13:30 - 14:30 災害後のコミュニティ復興と教育の役割—理論と実践の検討

○大倉 健太郎 (大阪女子短期大学) ○西井 麻美 (ノートルダム清心女子大学)

○岡本 弘子 (北陸学院大学) ○丸山 英樹 (国立教育政策研究所)

垂見 裕子 (早稲田大学)

吉野 舞起子 (ティーチャーズ・カレッジ、エルベンウッド・センター)

嶋内 佐絵 (日本学術振興会特別研究員 (PD))

杉田 優子 (エクアドルの子どものための友人の会) 杉村 美紀 (上智大学)

自由研究発表IV - 8

7月13日(日) 12:30 - 14:30

教室 : S20

International Education and Educational Interaction (E)

Chairperson : Aya Okada (Nagoya University)

12:30 - 13:00 Challenge of 'Globalization Support Internship' by International Exchange

Students: Support for the Revitalization and Internationalization of Local Society

Naomi Tsunematsu (Hiroshima University, International Center)

13:00 - 13:30 The Impact of Student Mobility on the Internationalization of the Curriculum:

An Investigation into English Medium Courses at Japanese Universities

James P. Lassegard (Hosei University)

13:30 - 14:00 Asia-bound student mobility policies in Australia and Japan: A case of agenda convergence?

Jeremy Breaden (Monash University)

14:00 - 14:30 Promoting the Activities of Female Researchers in Japanese National Universities

Noriko INUZUKA (Kyoto University)

Educational Reform and Educational Planning (E)

Chairperson : Shinobu Yamaguchi (Tokyo Institute of Technology)

- 12:30 - 13:00 Factors affecting Information Communication Technology (ICT) skills of primary school teachers in Mongolia
OYUN Tsogtsaikhan (Tokyo Institute of Technology)
- 13:00 - 13:30 An Analysis on Girls' Learning Achievement through TIMSS 2011:
A Case in Palestine
Natsumi OHASHI (Kobe University)
- 13:30 - 14:00 Affirmative Action in Brazil's Public Universities: Equality of Opportunity or
Discrimination?
Ana Mami Yamaguchi (Hokkaido University of Education)
- 14:00 - 14:30 Paulo Freire and a Japanese Writing Project for Liberation
Shigeru Asanuma (Tokyo Gakugei University)

課題研究 I ・ II

2014 年 7 月 13 日（日） 15:00～17:30

日本比較教育学会第 50 回大会

課題研究 I

「比較教育学 50 年の回顧と展望」

日時：2014 年 7 月 13 日(日)午後 3 時～5 時 30 分

場所：名古屋大学 豊田講堂ホール

パネリスト カルロス・A・トーレス

(カリフォルニア大学ロサンゼルス校、世界比較教育学会・現会長)

ロバート・F・アーノブ

(インディアナ大学、比較国際教育学会・2001 年度会長)

村田 翼夫 (筑波大学名誉教授)

小川 佳万 (東北大学)

司会 山田 肖子 (名古屋大学)

* トーレス氏、アーノブ氏の発表は英語で行われます。パネルディスカッション、質疑応答は日本語で進めますが、トーレス氏、アーノブ氏の発言は英語になります。

◆テーマ:

学会設立から半世紀を経て、日本比較教育学会も会員数 1000 名程度を数えるようになりました。これまでも比較教育学の手法、発想、学問的な貢献などについて、折に触れて議論されてきましたが、この期に、改めて日本の比較教育学の経験を振り返りつつ、世界の中に位置づけて議論してみてもどうでしょうか。

この課題研究では、現世界比較教育学会(World Congress of Comparative Education Societies: WCCES)会長のトーレス氏、比較国際教育学会(Comparative and International Education Society: CIES)元会長のアーノブ氏を海外からお招きし、世界や北米の比較教育学の視点から話題提起していただきます。同時に、日本比較教育学会員からは、長く筑波大学で比較教育学の研究、後進指導に貢献された村田翼夫氏、気鋭の中堅研究者である小川佳万氏から、それぞれの研究視角からのご発言をいただき、国内外、過去と現在を行き来しつつ、今後の比較教育学の展望について自由に話し合ってみてみたいと思います。

フロアからの質問、コメントも取り入れつつ、議論を進めていきたいと思っておりますので、積極的なご参加をお願いします。

日本比較教育学会第 50 回大会

課題研究Ⅱ

「外国人児童生徒の教育課題—日欧比較—」

日時：2014 年 7 月 13 日(日)午後 3 時～5 時 30 分

場所：名古屋大学 豊田講堂シンポジオン

パネリスト オランダ

吉田重和（新潟医療福祉大学）

スウェーデン

林寛平（信州大学）

日本

二井紀美子（愛知教育大学）

司会 杉本和弘（東北大学）、園山大祐（大阪大学）

コメンテーター 江原裕美（帝京大学）

◆テーマ：

本課題研究では、外国人児童生徒の教育問題について 3 つの報告をもとに、日本とヨーロッパの比較から検証することとする。

外国人児童生徒の教育問題に関する比較研究は、小林哲也・江渕一公編による『多文化教育の比較研究』九州大学出版会(1985, 1997 年)が最初と思われるが、以後数冊の研究があるものの 2000 年代の動向を抑えたものは管見する限りない。そこで、70 年代に単純労働者の受け入れ停止を機に西欧における外国人児童生徒の教育が開始してから 40 年を振り返り、今日的な課題を確認したい。なかでも、予てからヨーロッパでは移民の子どもに寛容な教育を施していたオランダ及びスウェーデンに注目したうえで、我が国における「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入状況等に関する調査」(1991 年より)の開始以降にみる政策変遷と現場の状況からみる課題について比較考察を試みたい。とくに日本の中でもニューカマーの集住がみられる愛知県の取り組みに注目する。

ここでは、日欧比較として、学習権の保障として「外国人学級」、「外国人教育」の始まりが各国でどのような論争の末始められたのか。その後、出身言語・文化の教育の保障についてどのように行われてきたか。さらに宗教、あるいは宗教教育との関連についてもどのように配慮されているか等、政策の変遷を整理する。

また、近年の排外主義との関連において、移民 2 世以降の学力保障に向けた政策の動向にも触れることとした。

こうしたヨーロッパの動向に対し、日本の政策がどの程度欧米を参考にしてきたか。また都道府県における独自の施策はあるのか。日系ブラジル人に対する特別な配慮はなにか。さらに、近年増加している外国人学校の創設には、どのような課題が考えられるか。

参加会員と一緒に外国人にも開かれた公教育について考えてみたい。

国際的視野の下での考察・比較

新刊 **トランスナショナル高等教育の国際比較**
—留学概念の転換
杉本均編著
A5・上製・三二二頁・三六〇〇円

新刊 **新自由主義大学改革** — 国際機関と各国の動向
編者代表 細井克彦
A5・上製・三八四頁・三八〇〇円

新刊 **新興国家の世界水準大学戦略**
—世界水準をめざすアジア・中南米と日本
P・G・アルトバック/J・ハラン編 米澤彰純監訳
A5・上製・四〇八頁・四八〇〇円

新刊 **高等教育質保証の国際比較**
—授業料と奨学金の8カ国比較
小林雅之編著
A5・上製・四九六頁・六八〇〇円

新刊 **21世紀の教育改革と国際交流**
望田研吾編
A5・上製・三二二頁・三八〇〇円

新刊 **アジアの中等教育改革** — グローバル化への対応
馬越徹・大塚豊編
A5・上製・二八八頁・二八〇〇円

新刊 **中央アジアの教育とグローバリズム**
嶺井明子・川野辺敏編著
A5・上製・二六四頁・三二〇〇円

日本を中心とした問題追究

新刊 **現代日本の教育課題** 21世紀の方向性を探る
村田翼夫・上田学編著
A5・並製・三四四頁・二八〇〇円

新刊 **現代教育制度改革への提言** (上)二八八頁 (下)二八〇頁
日本教育制度学会編
各A5・上製・二八〇〇円

比較教育学の地平を拓く
—多様な学問観と知の共働

山田肖子・森下稔編著
A5・上製・四五六頁・四六〇〇円
転換期日本の大学改革 — アメリカとの比較
江原武一著
A5・上製・三二八頁・三六〇〇円

比較教育学事典
—学会の総力を結集した総合的事典。研究者・学生必携!
日本比較教育学会編
B5・上製・四五六頁・二二〇〇〇円

各国における理論と実践の展開

新刊 **オーストラリアの教員養成とグローバリズム**
—多様性と公平性の保証に向けて
本柳とみ子著
A5・上製・三二二頁・三六〇〇円

新刊 **オーストラリアのグローバル教育の理論と実践**
—開発教育の継承と新たな展開
木村裕著
A5・上製・二七二頁・三六〇〇円

新刊 **新版オーストラリア・ニュージーランドの教育**
—グローバル社会を生き抜く力の育成に向けて
青木麻衣子・佐藤博志編著
A5・並製・二〇〇頁・二〇〇〇円

新刊 **アメリカにおける学校認証評価の現代的展開**
浜田博文編著
A5・上製・二〇〇頁・二八〇〇円

新刊 **アメリカにおける多文化的歴史カリキュラム**
桐谷正信著
A5・上製・二八八頁・三六〇〇円

新刊 **教育による社会的正義の実現**
—アメリカの挑戦(一九四五—一九八〇)
D・ラヴィッツ著 末藤美津子訳
A5・上製・五四四頁・五六〇〇円

新刊 **アメリカ大学管理運営職の養成**
高野篤子著
A5・上製・二六四頁・三二〇〇円

新刊 **イギリスの大学** — 対位線の転位による質的転換
秦由美子著
A5・上製・四二四頁・五八〇〇円

新刊 **EUにおける中国系移民の教育エスノグラフィ**
山本須美子著
A5・上製・三七六頁・四五〇〇円

新刊 **ドイツ統一・EU統合とグローバリズム**
—教育の視点からみたその軌跡と課題
木戸裕著
A5・上製・六二四頁・六〇〇〇円

新刊 **インドの無認可学校研究** — 公教育を支える影の制度
小原優貴著
A5・上製・三三三頁・三二〇〇円

新刊 **教育における国家原理と市場原理**
—チリ現代教育政策史に関する研究
斉藤泰雄著
A5・上製・三六〇頁・三八〇〇円

近刊(一部仮題を含む)

〈ユネスコ国際教育政策叢書(全12巻) 黒田一雄・北村友人編〉
各A5・一〇〇〜一五〇頁・予二二〇〇〜一五〇〇円

教育政策立案の国際比較
北村友人訳

グローバルゼーションと教育改革
吉田和浩訳

塾・受験指導の国際比較
鈴木慎一訳

紛争・災害後の教育復興
小松太郎訳

(以上6月〜7月初旬刊、以下続刊)

学位プログラムの質保証
—コンピテンスとアセスメント
深堀聰子編著

専門職大学院の新展開
吉田文編著

大学理念の再検討と大学改革の展望
金子勉著

国立大学システム — 機能と財政
島一則著

学生エリート養成プログラム
北垣郁雄編

—アメリカ・中国・日本
教員養成と教育哲学
林泰成・山名淳・下司晶・古屋恵太 編著

国際的に見た外国語教員の養成
大谷泰照他編

グローバル英語を超えて
鳥飼玖美子編

—普遍性と多様性の一貫教育
ポストドクター — 世界比較
北野秋男著

間違いがまかり通っている時代
—民間化の矛盾・混乱とアメリカ公教育の危機
D・ラヴィッツ著 末藤美津子訳

アメリカの公立学校
—コモンズクールからNCLEB法まで
W・J・リース著 小川佳乃・浅沼茂監訳

国際教育開発の射程
—持続可能な社会へ向けた比較教育学の試み
北村友人著

日本比較教育学会第50回大会

編者 カルロス・トーレス先生、ロバート・アーノブ先生
7月13日、課題研究Ⅰに登壇!!

時代の転換期に比較教育学を形成する種々の力を映し出す

Comparative Education
The Dialectic of the Global and the Local

「進化するテキスト」最新版!

21世紀の比較教育学

グローバルとローカルの弁証法

【編著】

Robert F. Arnove

ロバート・F・アーノブ

Carlos Alberto Torres

カルロス・アルベルト・トーレス

Stephen Franz

スティーヴン・フランツ

【訳】

大塚 豊

(日本比較教育学会会長)

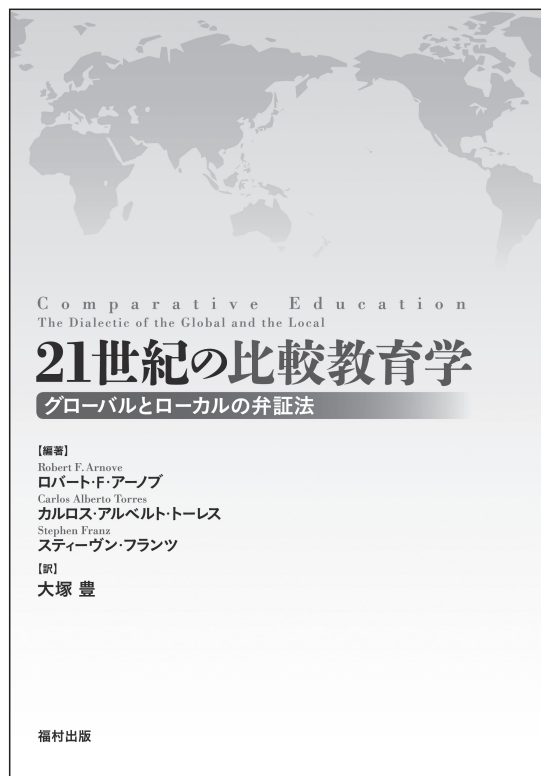
A5判/上製/730頁

◎定価(本体9,500円+税)

比較教育学を学ぶ基本材料

本書は、空間に依拠する考察に(従来のような)列国体の記述は含まれず、
いづれも大陸や広域を範囲として比較的視点に立った地域横断的な考察ばかりであり、問題に依拠する考察で取り上げられる内容にしても、モダニティやグローバリゼーションと教育、教育をめぐる国際関係、政治経済体制と教育、文化と教育、アイデンティティと教育、集権化・分権化と教育、ジェンダーと教育など、時代の転換期にあつて社会や教育に関する基本枠組みや根本認識の再考を迫るような広がりや深みのある諸課題に対して、読み応えのある比較的考察が各章で展開されている。

——訳者あとがきより



- 序章 比較教育学の再構築 グローバルとローカルの弁証法
- 第1章 専門技術主義、不確実性、倫理
ポストモダンとグローバル化時代の比較教育学
- 第2章 制度化する国際的影響関係
- 第3章 国家・社会運動・教育改革
- 第4章 文化と教育
- 第5章 比較教育学的観点から見たアイデンティティの問題
- 第6章 教育の平等性 新たな千年期から見た比較研究60年間の成果
- 第7章 21世紀における女性の教育
- 第8章 教育の統制 集権化と分権化の問題と葛藤
- 第9章 ポストコロニアルな変革における成人教育・
コミュニティ教育の役割を考えるためのリテラシー論

- 第10章 オーストラリア、イギリス、アメリカにおける
教育改革の政治経済学
- 第11章 グローバル化時代における高等教育の再編成
他律的モデルに向かうのか
- 第12章 ラテンアメリカの教育 依存と新自由主義から開発への代替道へ
- 第13章 アジア・太平洋地域の教育 いくつかの持続する課題
- 第14章 中東の高等教育
- 第15章 東欧および中欧の教育 グローバル化状況におけるポスト社会主義の再考
- 第16章 アフリカにおける万人のための教育
追いつくのではなく、先導役になる
- 第17章 ヨーロッパ教育圏の政治的構築
- 第18章 比較教育学 グローバル化とその不満に関する弁証法



福村出版

〒113-0034 東京都文京区湯島2-14-11

TEL 03-5812-9702 FAX 03-5812-9705 <http://www.fukumura.co.jp>

アジアの教科書に見る子ども

塘利枝子 編 出羽孝行・スズネット 他著
アジア各国の教科書に描かれた子ども
の姿から、理想の家族と子ども像、
性役割観の違いを解明。430ページ
2200円

幸福の人類学

◎クリスマスのドイツ・正月の日本
鈴木晶子／クリストフ・ウルフ 編
歴史・文化人類学的な手法を用いて
「家庭の幸福」を探究。2200円

比較教育学の基礎

世界中の教育の実態と課題を、文化・伝
統を考慮しながら比較し、日本の教
育のあり方を問う。2500円

明治五年「学制」

◎通説の再検討
竹中暉雄 著
日本の近代教育制度の原点「学制」を
実証的・総合的に研究。6000円

国際ポランティア論

◎世界の人々と出会い、学ぶ
内海成治・中村安秀 編
国際ボランティアの意義とこれから
を考える。2400円

データで見る 東アジアの文化と価値観

◎東アジア社会調査による日韓中台の比較②
岩井紀子・上田光明 編
EASS 2008による比較。5000円

変容するイスラームの 学びの文化

◎マレーシア・スリム社会と近代学校教育
久志本裕子 著
近代化と伝統のはざま。8000円

幸福感を紡ぐ 人間関係と教育

子安増生・杉本均 編
多彩な論考、座談会から、幸福感を支
える「教育の力」を示す。2200円

多文化教育の世界的潮流

国際化時代における文化的多元主義に
もとづく新しい教育のあり方を探求し
た労作。2300円

ブラジル人学校の 子どもたち

◎「日本がブラジルか」を超えて
インタビュ調査による彼らのキヤ
リア選択の実態。6500円

留学生アドバイジング

◎学習・生活・心理をいかに支援するか
横田雅弘・白土 悟 著
留学生政策・留学交流のための支援
の理論と実践を解説。3500円

データで見る 東アジアの健康と社会

◎東アジア社会調査による日韓中台の比較③
岩井紀子・埴淵知哉 編
EASS 2010による比較。4800円

あなた自身の社会

「スウェーデンの中学教科書」
アーネ・リンドクウイスト&ヤン・ウエステル／川上邦夫訳 二二〇〇円
ひとり立ちをはじめた年代の子どもたちに、自分を取り巻いている「社会」というものを
わかりやすく解説。皇太子激賞の詩収録。

幼児のための環境教育

岡部翠 編 「スウェーデンからの贈り物「森のムツレ教室」」 二〇〇〇円
「森のムツレ」に出会ったことがありますか? 「環境対策先進国」スウェーデンの教育法に
学ぶ森での授業、野外保育の神髄と日本での実践例。

コルの「子ども」の学校論

「デンマークのオルタナティブ教育の創始者」
クリステン・コル／清水満 編訳 二〇〇〇円
近代の国民教育の歴史においてベスタロッチに並ぶ重要性をもつ人物、コル唯一の論文などを
本邦初翻訳、衝撃の一冊。日本で注目を浴びている北欧教育の原点がここにある。

新しく先生になる人へ

「フルウェーの教師からのメッセージ」
A.H.アンドレセン+B.ヘルゲンセン+M.ラーシェン／中田麗子訳 一八〇〇円
「重要で興味深い職業」教師という仕事を選んだ人のために書かれたフルウェーの本。
キーワードは「生徒の学びと学習環境」、「同僚や保護者との協働」、「熱意と柔軟性」。

北欧の消費者教育

「共生」の思想を育む学校でのアプローチ
北欧閣僚評議会 編／大原明美 訳 一七〇〇円
「自分を守る」ことに偏っている日本の消費者教育を見つめ直し、自分の生活に責任を持ち
社会を生かす消費の仕方を考えるための自立・共同・共生に基づく実践的テキスト。

オルタナティブ教育

永田佳之 著 「国際比較から見えてくる21世紀の学校づくり」 三八〇〇円
マイノリティの声を反映される社会空間の創設に向けて。子どもたち「今」を育む
「自由な時空」にこだわった、世界各地の教育活動の実践例を紹介。

ノンフォーマル教育の可能性

丸山英樹・太田美幸 編 「リアルな生活に根ざす教育へ」 二二〇〇円
世界各地の多様なノンフォーマル教育の事例を通じ、既存の教育観を問い直し、
「別様の教育」の可能性を模索する試み。

生涯学習社会のポリテイクス

太田美幸 「スウェーデン成人教育の歴史と構造」 三八〇〇円
なぜスウェーデンには「生涯にわたる学習」を支える豊かな制度があるのか。
その歴史と思想的・組織的・運動的基盤を読み解く。

日本の外国人学校

トランスナショナルリティをめぐる教育政策の課題

志水宏吉、中島智子、鍛冶致 編著 ◎本体価格4500円＋税
コリア系・中華・ブラジル人・インターナショナルといった「外国人学校」17校についてのエスノグラフィを通じ、それらにかかわる人々の多様な声をくみ上げ、その教育的可能性を多面的に描き出しつつ、今日の日本の学校教育システムが抱える諸課題をあぶり出す。

多文化社会の教育課題

学びの多様性と学習権の保障

川村千鶴子 編著 ◎本体価格2800円＋税
あらゆる子どもの学習権を保障するために活動してきた各地の実践事例を紹介し、「国民」形成のための画一的教育ではなく、グローバル社会で活躍できる人材育成を目指す教育の在り方について提言する。

日韓中でつくる国際理解教育

日本国際理解教育学会、ユネスコ・アジア文化センター(ACCU) 共同企画
大津和子 編 ◎本体価格2500円＋税

日韓中それぞれの児童生徒が隣国の文化や歴史的なつながりに興味・関心をもち相互理解を深められるようなカリキュラム・教材の開発に、3ヶ国の研究者および教員が協働して取り組んだ。その成果として、教育現場で広く活用できる指導案を多数紹介する。

スウェーデンの義務教育における「共生」カリキュラムの研究

戸野塚厚子 著 ◎(予備) 本体価格5400円＋税
未来社会に生きる子どもたちには、どのような「知」が必要とされるのか。スウェーデンの「共生」のカリキュラムに注目し、学校教育における教科の構成や学習観を問い直し、教育概念を変革するための示唆を与える。

生きるための知識と技能5 OECD生徒の学習到達度調査(PISA)

2012年調査国際結果報告書

国立教育政策研究所 編 ◎本体価格4600円＋税
世界65か国・地域の15歳児の学習到達度について、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3つの分野から評価したPISA2012年調査結果をもとに、日本にとって特に示唆のあるデータを中心に整理・分析する。調査結果の経年変化や学習背景との相関についても紹介。

OECD成人スキル白書

第1回国際成人力調査(PIAAC)報告書

(OECDスキル・アウトLOOK2013年版)
経済協力開発機構(OECD) 編著

矢倉美登里、稲田智子、来田誠一郎 訳 ◎本体価格8600円＋税
仕事や日常生活で必要とされる汎用的スキルについて、「読解力」「数的思考力」「ITを活用した問題解決能力」の3分野から評価する。スキル習熟度に加え、社会的背景や学歴、年齢などの様々な要因とスキルの関連について、国際比較可能なデータをもとに分析する。

TIMSS2011算数・数学教育の国際比較 TIMSS2011理科教育の国際比較

国際数学・理科教育動向調査の2011年調査報告書

国立教育政策研究所 編 ◎本体価格 各3800円＋税
世界63か国／地域の小学校4年生と中学校2年生の理科と算数・数学の教育到達度について国際的な尺度によって評価。児童生徒の問題別の得点傾向や各国比較、経年変化、学習環境条件等の諸要因との関連等、日本にとって示唆のあるデータを中心に整理・分析する。

明石書店

<http://www.akashi.co.jp/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174

振替口座00100-7-24505 *図書目録送呈 *価格税別

学会業務情報化サービス

最新 IT 技術と専門スタッフによる
ハイブリッドな対応で
学協会をサポートします。

- 学会業務情報化システム SOLTI
- 学会事務局運営支援および事務局代行
- 学会誌の編集・査読支援・印刷発行
- オンライン選挙
- 学術集会運営支援
- 学会会計業務（一般社団法人・公益法人を含む）
- 学会ホームページの制作・運営

株式会社ガリレオ

【事業内容】

- 英文和訳・和文英訳の翻訳業務
- ウェブコンテンツの制作・運営
- 情報配信サービス
- コンピュータシステムの開発
- 学会業務情報化サービス
- 各種業務支援サービス

オフィス所在地

■東京オフィス

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル 4F
TEL: 03-5981-9823
TEL: 03-5981-9824 (学会業務情報化サービス)
FAX: 03-5981-9852

■大阪オフィス

〒532-0011 大阪府淀川区西中島 4-5-1 新栄ビル 5 階 D 号室
TEL/FAX: 06-6305-2716

■上田オフィス (本社)

〒386-0027 上田市常盤城 5-3-29
TEL: 0268-22-6211
FAX: 0268-22-6233

■連絡先

mail to: gakkai-mng@ml.galileo.co.jp
http://www.galileo.co.jp/

Galileo

働き方を変える。生き方を変える。
ガリレオ・ウェイ

インターネットによって、働くもの一人ひとりの働き方をより自由に変えていく。
ひいては生き方をより自由に変えていく。
その結果、よりコストパフォーマンスに優れた結果が生み出されていく。
そのようにして生じた価値で、お客様に満足していただく。
当社のこだわりはここにあります。



INTERACTIVE COMMUNICATION!

クリッカーで、アクティブラーニングを実現!!



TurningPoint® Audience Response System



1.

動く物体にかかる力の合計がゼロ
であるとき、その物体はどうなるか。

- A. 一定の速さで動き続ける。
- B. 進む方向が変わる。
- C. 一定の割合で加速する。
- D. 減速して停止する。

今すぐ回答

質問をします

2.



クリッカーで受講生に回答させます

3.

動く物体にかかる力の合計がゼロ
であるとき、その物体はどうなるか。

- A. 一定の速さで動き続ける。
- B. 進む方向が変わる。
- C. 一定の割合で加速する。
- D. 減速して停止する。



集計結果がすぐにグラフ化されます

ResponseWare

商品及びデモに関するお問合せたまわります

www.keepad.com/jp
sales.jp@keepad.com

KEEPAD JAPAN 株式会社
06-6484-6183 (大阪)
03-5565-1834 (東京)

KEEPAD
JAPAN

発行：日本比較教育学会第 50 回大会準備委員会

委員長：西野節男

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 服部美奈研究室気付

日本比較教育学会第 50 回大会準備委員会事務局

e-mail: jces50.nagoya@gmail.com

URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/50/>
